

日合商は昭和52(1977)年に合板・建材を扱う流通業界の活性化と、関係官庁に意見書が提出できる組織として発足した歴史ある組織であり、業界唯一の国の認可団体です。その「会勢強化」は、業界の活性化につながるものです。また、新規会員・賛助会員の数が増えることで関係官庁への発言力も増し、社会的な影響力も拡大していくものと考えています。

Japan Plywood Wholesalers Association e-mail: jpwa@oboe.ocn.ne.jp  
発行所: 日本合板商業組合 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-4 TEL 03 (5256) 9080

日合商HP  
https://www.nichigoshonet/



## 年頭所感



日本合板商業組合  
理事長 足立 建一郎

少ししました。国産合板は需要に見合った生産調整を継続し需給バランスは保たれましたが、輸入合板は、需要低迷に加え歴史的な円安により新規発注が控えられ、入荷量は1月から10月までの累計で160万㎡を下回り、過去に類を見ない程の大幅減少となりました。今後も需給バランスを保つために、国内・輸入合板ともに需要に見合った供給が望まれます。

このような環境のなか、日合商は合板をはじめとする建材需要の安定化や合法伐採木材等の利用と普及・拡大の活動に取り組んで参りました。2050年脱炭素社会の実現に向け、公共建築物から一般建築物にまで木材利用の動きは広がりをみせています。また、昨年5月には改正クリーンウッド法が公布され、2025年施行に伴い合法伐採木材の需要は更に増加していくものと推測されます。今後も、合法伐採木材等の利活用・木造建築物の拡大等、国の施策を見据えた取り組みを会員の皆さまと共に進めて参ります。

日合商の会勢の強化に関しましては、合法伐採木材等の供給事業者認定取得のための入会による増加と、事業撤退や合併等による減少の結果、組合員数は739社(2023年9月末日)となっています。引続き、組合員・準会員・賛助会員の皆さまのご協力を仰ぎ、会勢強化への取組に向けて邁進していく所存です。

本年も、会員相互の「協調と連帯」のもと、情報の早期収集並びに発信を通じ、組合員の皆様の事業拡大・強化に貢献して参りたいと考えております。

会員の皆さまと連帯し、共に成果を手に入れる年とすることを祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。  
組合員の皆さま、賛助会員の皆さま、本年も宜しく願い申し上げます。  
さて、昨年の世界情勢は、新型コロナウイルスのパンデミックからの回復が期待された中、欧米の高金利・高インフレや中国の景気減速に加え、長引くウクライナ侵攻問題や、地政学リスクの顕在化等にもより、停滞感が漂う年になりました。7月～9月期の実質GDPは、米国では5期連続でプラス成長となるものの、中国では伸び幅が減少、またEUでは3期ぶりのマイナス成長になるなど、各地域での成長格差が広がりました。国内では、7月～9月期の実質GDP成長率は、前期に比べ▲0.5%と3四半期ぶりのマイナス成長となり、物価上昇による個人消費の伸び悩みや設備投資が弱含んだことと、輸出の伸びにも力強さが欠けたこと等が影響したと思われます。

本年の世界経済は、欧米の金融引き締めによる需要の下押しや、中東紛争激化への懸念など不確実性が高まり、下振れリスクが高まっています。国内では政府による新たな総合経済対策やインバウンド需要の復調等に期待されますが、依然として物価上昇圧力は強く、人手不足への対応など課題も残ります。

業界環境として昨年の国内住宅需要は、1月-10月までの新設住宅着工数は前年比95.7%と減少傾向にあり、中でも持家は資材高騰による住宅価格の高止まり等により23カ月連続の減少となりました。本年も、資材高騰の影響は残り、持家は厳しい状況が続くと思われませんが、昨年同様に省エネ住宅支援策による質の高いストックの形成に向けた需要の創出に期待が持てます。

一方、国内の合板需要は、木造戸建て住宅の着工減などの影響を受け、国内と輸入の全体量は減

創業100周年、ジューテックグループは「ジオリーブグループ」へ。

GEO × LIVE  
地球 × 生きる



# GEOLIVE

次の生き方をつくろう。



ジオリーブグループ株式会社  
ジューテックホーム株式会社

株式会社ジューテック  
オフィスオペレーション株式会社

ジオフィット株式会社  
ジーエル運輸株式会社

株式会社グリーンハウザー  
角野産業株式会社

グッドハウザー株式会社  
中部フローリング株式会社

株式会社イワベニ



# 合板需給検討委員会 2023年12月13日の検討結果

日本合板工業組合連合会・日本木材輸入協会・日本合板商業組合による「2023年度第二回合板需給検討委員会」を林野庁木材利用課で出席のもと、合板会館（日合商会議室）において開催。木材行政推進のための情報として林野庁に提供した合板の短期需給見通しの検討結果です。

## 合板 短期需給見通し

(Unit : 1,000m<sup>3</sup>)

		供給			需要(出荷)			期末在庫		
		計	国内製造	輸入合板	計	国内製造	輸入合板	合計	国内製造	輸入合板
2023(R5)7-9	前回予測	(1,136)	(660)	(476)	(1,150)	(650)	(500)	(1,004.047)	(127.548)	(876.499)
	実績	1,153.002	654.058	498.944	1,176.558	660.935	515.623	994.491	110.671	883.820
10-12	前回予測	(1,190)	(680)	(510)	(1,170)	(650)	(520)	(1,024.047)	(157.548)	(866.499)
	見込み	1,192.827	680.827	512.000	1,180.000	670.000	510.000	1,007.318	121.498	885.820
	計	4,462.141	2,523.853	1,938.288	4,511.918	2,523.145	1,988.773			
2024(R6)1-3	前回予測	(1,205)	(700)	(505)	(1,200)	(680)	(520)	1,029.047	177.548	851.499
	見通し	1,180.000	670.000	510.000	1,160.000	660.000	500.000	1,027.318	131.498	895.820
4-6	見通し	1,205.000	680.000	525.000	1,170.000	670.000	500.000	1,062.318	141.498	920.820

### 国産合板の需要

- 令和5年第3四半期の実績について** 今回(661千m<sup>3</sup>)  
(実績数量の背景、前年同期との比較等)  
実需が見えにくい中、需要側は当用買いを継続。なお、メーカーの生産調整が続いた結果、出荷量は生産量を若干上回る結果となる。昨年同時期は貸家及び分譲戸建住宅の牽引により相応の需要があったが、今年に入り持家住宅の着工減に加え、分譲戸建住宅にも陰りが見え始めたことから、前年同期比94.5%の結果となる。
- 令和5年第4四半期の見込みについて** 今回(670千m<sup>3</sup>)  
(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)  
需要側の当用買い及び供給側の生産調整は継続。なお、前年は、10月～12月の持家住宅の着工が10%以上減と急激に冷え込んだことから警戒感が強まり、出荷量は着工棟数減以上に大幅減となる。今期も持家住宅の着工減は続き、また価格も底値が見えにくく、価格の底固めにはもう少し時間を要すると推測されることから、前年同期比ではほぼ同水準の103.4%と見込む。
- 令和6年第1四半期の見通しについて** 今回(660千m<sup>3</sup>)  
(見通し作成の根拠)  
供給側では生産調整の継続並びに季節要因及び一部メーカーでの機械の代替等もあるため、供給量は前期並みの見通し。一方需要側も市況の回復が見えない限り、在庫補充は行わず当用買いを継続と推測。なお、前年同期は決算を控え価格の先安感が急激に漂い出したことから需要は大幅に減少したが、今期は新設着工数に準じた需要となる見通し。  
(前年同期との差異について)  
結果、前年同期115%の見通し
- 令和6年第2四半期の見通しについて** 今回(670千m<sup>3</sup>)  
(見通し作成の根拠)  
合板需要に影響を与える木造戸建住宅着工の回復は現時点では不透明。また、分譲住宅メーカーも完成在庫を抱えているとの情報もあることから、完成在庫の販売状況によっては今後の着工に影響を及ぼす可能性があり。非住宅物件に期待したいところだが、現時点では予測外とする。よって、前年同期水準の需要の見通し。  
(前年同期との差異について)  
結果、前年同期比の108.4%



### 輸入合板の需要

- 令和5年第3四半期の実績について** 今回(516千m<sup>3</sup>)  
(実績数量の背景、前年同期との比較等)  
実需の乏しさ、為替円安の影響も有り、供給側では新規オーダーが控えられ供給量は引き続き低水準で推移。供給量の減少に伴い、品薄の商品も見受けられたものの、需要側は国内合板同様に当用買いに徹し、在庫補充の動き迄には至らず。昨年同時期は、薄物合板の荷動きは停滞していたものの、12mm品を中心に荷動きがあったが、今期は全般的に低調な荷動きにより、前年同期比77.2%の結果となる。
- 令和5年第4四半期の見込みについて** 今回(510千m<sup>3</sup>)  
(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)  
前期に一時的に円高に振れたことから、一瞬供給量は増加するものの、供給側は需要に見合った発注を行うため供給量は前期と同水準の見込み。欠品アイテムにより本来は価格調整がなされ、値上げ基調に向かうはずだが、需要側は実需が見えにくく、また為替相場も不安定なことから当用買いを継続。よって、前期と同水準で前年同期比93.4%の見込み
- 令和6年第1四半期の見通しについて** 今回(500千m<sup>3</sup>)  
(見通し作成の根拠)  
大型物件等は職人不足による着工遅れなどもあり、市況回復は見えにくい状況。供給側は為替変動のリスク及び需要の停滞感から、新規オーダーは増やさず前年同期水準の供給量となる見込み。需要側も当用買いを継続すると推測されることから、前年同期と同水準で推移する見通し。  
(前年同期との差異について)  
結果、前年同期比99.8%の見通し
- 令和6年第2四半期の見通しについて** 今回(500千m<sup>3</sup>)  
(見通し作成の根拠)  
大型物件等の着工に期待したいところだが、働き方改革等により職人不足もあり、不確定要素が多い。また、アイテムによっては品薄状態が続くと推測するが、大きく需要が回復しなければ、需要側は当用買いを継続すると推測。よって、前期と同水準で推移すると見込む。  
(前年同期との差異について)  
結果、前年同期比108.1%の見通し
- その他注目点等**  
来年2月から開始される輸入合板へのJAS表示に加え輸入業者名の印字に関して、今後の供給量にどの様に影響を与えるか注視する必要がある。

## 東京の合板卸売り価格 (円)

※東京都ベニヤ板問屋協同組合、日本合板商業組合「市況通信」より

(注) 1車単位(10トン) 問屋売り価格・90日手形(JAS製品)

品目	11月22日	前週比	11月29日	前週比	12月6日	前週比	12月13日	前週比	12月20日	前週比	12月27日	前週比	
ラワン JAS F☆☆☆☆	2.3mm T2	950	0	950	0	950	0	950	0	950	0	950	0
	4.0mm "	1,260	0	1,260	0	1,260	0	1,260	0	1,260	0	1,260	0
	5.5mm "	1,550	0	1,550	0	1,550	0	1,550	0	1,550	0	1,550	0
	9.0mm "	2,080	0	2,080	0	2,080	0	2,080	0	2,080	0	2,080	0
	12.0mm "	2,630	0	2,630	0	2,630	0	2,630	0	2,630	0	2,630	0
針葉樹 構造用	F☆☆☆☆ 12mm C-D	1,850	-20	1,800	-50	1,800	0	1,800	0	1,800	0	1,800	0
	F☆☆☆☆ 24mm 実付	4,100	-40	4,000	-100	4,000	0	4,000	0	4,000	0	4,000	0
	F☆☆☆☆ 28mm 実付	4,850	-40	4,750	-100	4,750	0	4,750	0	4,750	0	4,750	0
	F☆☆☆☆ 9mm 3×10	3,000	-20	2,950	-50	2,950	0	2,950	0	2,950	0	2,950	0
輸入・型枠用	12mm JAS製品	2,100	0	2,100	0	2,100	0	2,100	0	2,100	0	2,100	0
輸入・構造用	F☆☆☆☆12mm JAS製品	2,100	0	2,100	0	2,100	0	2,100	0	2,100	0	2,100	0

**TOTO**

気持ち、まいにち、きらめくキッチン。

ようこそ、光のキッチンへ。

**THE CRASSO**

ザ・クラッソ

TOTO 技術相談室  
電話: 0570-01-1010 受付時間: (平日) 9:00~18:00 (土曜日) 9:00~17:00  
(日・祝日・夏期休暇・年末年始・当社所定の休日等を除く)  
建築専門家のための情報サイト COM-ET(コメント) <https://www.com-et.com>  
ザ・クラッソ 商品ページ <https://jp.toto.com/products/kitchen/crasso>

窯業系外装材 **モエインフセレード16 オペリアシリーズ**

金属製外装材 **センターサイディング プロリアル**

バウンティウッド

GLP アクション

窯業系外装材業界としては、当社が初めて採択されました!

M型 スマートフラット 侘寂(WABISABI)

画像はイメージです

素晴らしい人間環境づくり

**NICHIHA 二チハ株式会社**

ニチハ公式インスタグラム @nichiha\_officialjapan



概要

2023年10月の新設住宅着工戸数は71,769戸(前年同月比6.3%減)で5カ月連続の減少となった。その内、木造住宅は40,550戸(前年同月比5.4%減)で19カ月連続の減少。季節調整済年率換算値は80.8万戸で前月比1.0%増、先月の減少から再びの増加となる。

利用関係別では持家が18,078戸(前年同月比17.2%減)で23カ月連続の減少、貸家は31,671戸(同比1.0%減)で3カ月連続の減少、分譲住宅は21,582戸(同比1.2%減)で5カ月連続の減少。分譲の内訳はマンションが10,174戸(同比9.4%増)で4カ月ぶりの増加、戸建ては11,368戸(同比8.8%減)と12カ月連続の減少となった。

持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比6.3%の減少となった。

国内・外合板の供給量

10月の国内合板生産量23.1万㎡(前月比103.4%、前年同月比101.8%)と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は22.7万㎡(同比103.7%、102.4%)となり、出荷量は22.9万㎡(同比103.6%、108.7%)で在庫量は16.3万㎡となった。

合板市況と今後の見通し

日本合板商業組合東京支部  
東京都ベニヤ板問屋協同組合  
新風会 猪爪 清和

輸入合板の10月度入荷量は17.4万㎡(前月比93.4%、前年同月比88.4%)となった。国別入荷量は、マレーシアが4.6万㎡、インドネシアが5.7万㎡、中国が4.2万㎡となっている。

2023年入荷量累計では、マレーシアが前年比64.4%、インドネシアが65.7%と、かなり入荷が少ない状況になっている。

今後の見通し

輸入合板は、現地ではほぼ価格底打ちの兆しが出てきたが、需要背景は乏しいことや為替の影響もあり現地への発注量は小ロット傾向となっている。当面は纏まって在庫しづらい展開となってくると思われる。現状、為替変動分の販売価格への転嫁が遅れている点が見受けられるので、欠品アイテムから価格が調整されてくると思われる。そのところを踏まえうえで手当てを進めていただきたい。

国内針葉樹合板は徐々に出荷量は戻りつつある。メーカー各社は相場の下落を避けるように減産を表明し働きかけているが、現実として依然安値が聞こえており、弱基調は払拭されない。価格底固めに関してはもう少し時間を要するものとの見方も多く、当用買いは継続されている。市況を安定させるために、メーカーには需給バランスの再構築を図る意向を示していただきたい。



その床、天然より天然

色をまとった天然木の美

銘樹 Mokutone MEIJYU

銘樹 Mokutone MEIJYU

EIDAI 永大産業株式会社 www.eidai.com 検索

外壁下地用耐力面材 木造軸組

タイガー-EXプログレ

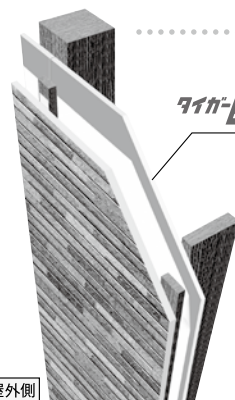
新製品

防火構造

耐力壁 木造軸組

壁倍率(標準仕様) 2.7

認定番号 FRM-0716



吉野防火

EXP-Y15

窯業系サイディング 15mm以上を用いた防火構造

認定番号 PC030BE-4028(横張り)

屋内側はタイガーボードの他にタイガー防水ボードなども可能です。小屋裏等は面材を省略できます。



耐火性

せっこうでできている無機系面材は木質系面材と比べ、火に強く燃えない建材



寸法安定性

膨張・収縮などの寸法変化が小さいため施工後の不具合が生じにくい



透湿性

湿気の通しやすさは木質系耐力面材の約14倍、湿気を通しやすいので結露の発生を抑制



汎用性

室内側の面材を自由にアレンジできるシンプルな防火構造



耐震性

壁全体で力を受け止めるため地震や台風に強い



施工性

カッターでの加工も可能/断熱材を充てんしやすいため、断熱性能を確実に発揮しやすくなる

※詳細は、耐力壁、防火構造の認定書、施工指図書をご確認ください。

YOSHINO 吉野石膏株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル お問い合わせは 吉野石膏DDセンター 03(3284)1181



持続可能性と生物多様性に配慮した継続的な

木材・資材の調達力

住友林業クレスト株式会社



セイホクグループは年間700万㎡の国産材を活用(HWP)し合板の炭素貯蔵力で地球の未来を笑顔にします

合板 700!

- セイホク株式会社 東京都文京区本郷1-25-5 TEL:03(3816)1031 FAX:03(3814)8299
宮城県石巻市重吉町1-7 TEL:0225(22)6511 FAX:0225(95)5867
宮城県石巻市重吉町1-7 TEL:0225(22)6511 FAX:0225(95)5867
秋田プライウッド株式会社 秋田県秋田市川尻町字大川反232 TEL:018(823)8511 FAX:018(862)1513
新秋木工業株式会社 秋田県秋田市向浜1-8-2 TEL:018(823)7265 FAX:018(864)8397
ホクヨープライウッド株式会社 岩手県宮古市磯鶏2-3-1 TEL:0193(62)3333 FAX:0193(63)3664
株式会社カリヤ 岩手県宮古市刈屋13-11-2 TEL:0193(72)2255 FAX:0193(72)3107
北上プライウッド株式会社 岩手県北上市和賀町後藤2-112-1 TEL:0197(73)5500 FAX:0197(73)5505
森の合板協同組合 岐阜県中津川市加子母5371-17 TEL:0573(79)5120 FAX:0573(79)5121
松江エヌエル工業株式会社 島根県松江市八束町江島1376-2 TEL:0852(76)3730 FAX:0852(76)3900
新栄合板工業株式会社 熊本県水俣市袋赤岸海50 TEL:0966(63)2141 FAX:0966(63)2145
ファミリーボード株式会社 東京都文京区本郷1-25-5 TEL:03(3816)3366 FAX:03(3816)3699
アイプライ株式会社 秋田県秋田市川尻町字大川反232 TEL:018(823)0511 FAX:018(863)8452

https://www.seihoku.gr.jp/ https://www.aplywood.co.jp/



日合商支部で11月に開催した懇親ゴルフ会

2023年11月24日(金)

東北支部

仙台空港ゴルフカントリークラブにて 20名参加

穏やかな晴天に恵まれ、会員同士が親睦を深めました。

【成績TOP5】(敬称略)

優勝 下久保和成  
 準優勝 中川 賀文  
 3位 伊藤 英昭  
 4位 草間 吉史  
 5位 中村 徹



2023年度 定期 日合商 WEB セミナー

講師：清水英雄事務所株式会社 代表取締役 清水大悟氏

第4回 2月14日(水) 開催日変更

テーマ 『2024年の住生活産業界の展望』

概要 2024年の住生活産業界はどうなっていくのか？ 2023年に起きた流れから今後の市場を読み解き、ビジネスチャンスに繋がる情報を解説していただきます。



お申し込みはこちらから

JK情報センター 2024(令和6)年1月～3月需要動向予測

調査時期：2023(令和5)年10月下旬から11月上旬

工務店・販売店様による需要予測

2023年1～9月の新設住宅着工数は、累計で前年比95.9%の61万7,030戸となった。着工の推移は、新設住宅着工数が最も少なかった2020年(81万5,340戸)と同水準となっている。

このような環境下、2024年1～3月の需要動向予測調査がまとまった。需要予測は工務店がマイナス18.3ポイント、販売店がマイナス23.3ポイントと共に前回調査からマイナス幅は縮小し、2023年4～6月調査のポイントを底に上向いている。

明るい兆しも見え始めているが、住宅価格やエネルギーコストの上昇は抑制されず、戸建て住宅中心に厳しい状況に置かれている。11月に新たな経済対策が閣議決定され、省エネ住宅取得や省エネ改修への支援が盛り込まれた。住宅省エネ2024キャンペーンの実施も予定されており、このような補助政策も有効に活用して切り開きたい。

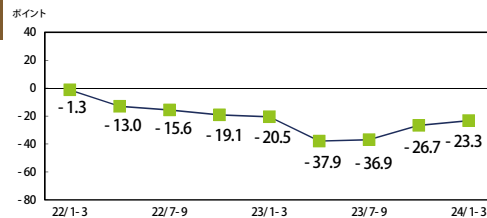
主要メーカー様による販売予測

主力メーカーの販売予測は、合板と木質建材は「減少」予測が縮小し、特に合板は「増加」予想が前回から20ポイント以上プラスとなった。一方、住設機器は一年以上「増加」が「減少」を上回るプラスポイントで推移していたが、今回の調査では「減少」予測が強まった。

	増加予測	前年並予測	減少予測
合板	45.5%	9.0%	45.5%
木質建材	22.2%	50.0%	27.8%
窯業・断熱	13.6%	36.4%	50.0%
住設機器	12.9%	56.7%	30.4%

販売店様による景気動向の推移

過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。



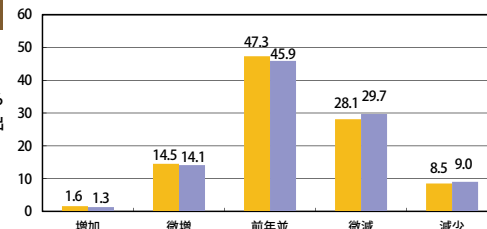
販売様による需要予測

全国 回答数 2,678

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中からお選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出しました。

単位は、「%」となります。

2023年 1月-3月 2024年 1月-3月



日合商支部 2024年新年会 2月開催スケジュール

四 国 新年会	2月 8日(木)	ホテルマイステイズ松山
神奈川 新年会	2月 15日(木)	崎陽軒本店

日合商 HP「組合員・会員様限定コンテンツ」より抜粋

【日合商解説】

vol.81 (2023年12月11日)

テーマ：令和6年度 林野庁関係予算 概算要求の重点事項

農林水産省・林野庁の概算要求における重点施策を解説

Vol.82 (2023年12月25日)

テーマ：令和6年度 観光庁関係予算 概算要求概要

国土交通省・観光庁の概算要求における重点施策を解説



日合商解説ページへはこちらから▶

私たちが 世界のために実現出来ること。 地球と暮らしを考える。



JKホールディングスグループでは、持続可能な社会構築を目指す SDGs参画を通して、現代社会に

蔓延する多くの課題解決に向け取り組みます。

地球資源を暮らしに活かす企業だからこそ、地球の未来を想い、人、自然、そして経済の発展に貢献します。



JKホールディングス株式会社

東京都江東区新木場1-7-22 TEL.03-5534-3800 https://www.jkhd.co.jp

